

宮城県感染症発生動向調査情報(第4週)

宮城県【平成25年01月31日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

- 2013.1.21 ~ 1.27 ・ 第4週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り  
宮 城 県 (含む仙台市)

疾 病	保 健 所							仙 台 市				患者数	累計	第1週	第2週	第3週	第4週
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	第1週	第2週	第3週						
水痘	9 1.80	7 0.70	6 1.20	1 0.50	4 1.33	14 2.80	5 2.50	30 1.15	76 1.31	331	→	○	→	◎	→	◎	
流行性耳下腺炎	2 0.40	2 0.20				12 2.40	2 1.00	3 0.12	21 0.36	117	→	○	→	○	→	レ	
百日咳											→	→	→				
感染性胃腸炎	36 7.20	62 6.20	21 4.20	25 12.50	27 9.00	84 16.80	12 6.00	134 5.15	401 6.91	1,304	→	○	→	◎	→	◎	
手足口病	7 1.40	1 0.10	3 0.60		3 1.00	1 0.20			15 0.26	49	→	→	→				
伝染性紅斑	4 0.80	2 0.20						10 5.00	17 0.29	27	→	→	→				
突発性発しん	3 0.60	3 0.30	7 1.40		5 1.67	3 0.60		18 0.69	39 0.67	113	→	○	→	○	→	○	
ヘルパンギーナ											→	→	→				
インフルエンザ	402 50.25	394 26.27	369 46.13	65 21.67	123 24.60	322 40.25	78 19.50	1097 26.12	2850 30.65	5,427	→	○	→	◎	→	◎	
咽頭結膜熱	3 0.60	4 0.40		4 2.00	1 0.33			9 0.35	21 0.36	41	→	→	→				
流行性角結膜炎								1 0.17	1 0.08	6	→	→	→				
急性出血性結膜炎											→	→	→				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7 1.40	15 1.50	2 0.40	5 2.50	1 0.33	19 3.80		30 1.15	79 1.36	244	→	○	→	◎	→	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→				
無菌性髄膜炎											→	→	→				
マイコプラズマ肺炎	4 4.00	1 1.00	5 5.00	3 3.00		1 1.00	9 9.00	10 2.00	33 2.75	86	→	○	→	レ	→	○	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1 1.00						1 0.08	5	→	→	→				
RSウイルス感染症	5 1.00	5 0.50	1 0.20					14 0.54	25 0.43	69	→	→	○	→	○		
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科) 川崎病 不明発疹	3 5 3	5 5 3	3 3 3		2 2 2	5 5 5	8 8 8									

：流行の変化について、今後の情報に十分注意  
：発生または流行について、今後の情報に留意  
レ：発生が少なくなっている傾向  
【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。  
<http://www.lhe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/>

今週の全数報告疾病

\*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
  - 塩釜管内 男性1名
  - 大崎管内 女性1名
  - 仙台管内 男性2名、女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌(O型不明)
  - 栗原管内 女性1名
  - 腸管出血性大腸菌(O159)
    - 石巻管内 女性1名
- 4類感染症: レジオネラ症
  - 仙台管内 男性1名
- 5類感染症: 後天性免疫不全症候群
  - 仙台管内 男性1名
  - 梅毒
    - 仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告 23例(仙台市を含む基幹定点報告)

今週の感染症のコメント

～宮城県感染症対策委員会情報解析部～

【インフルエンザ】

仙南、大崎、石巻管内で警報値を超えた。  
塩釜、栗原、登米、気仙沼、仙台管内で注意報継続中。  
今週になって県内の3管内で警報値を超えた。県全域でも一定点医療機関当たり患者報告数が警報発令基準の30人を超えている。また宮城県保健環境センター微生物部や仙台医療センターウイルスセンターでA香港型インフルエンザウイルスの検出が相次いでいるので、特に注意が必要である。  
インフルエンザに関する解説や予防法については、厚生労働省の下記「インフルエンザ問一答」などを参考に  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkakukansenshou01/dl/leaflet20110208\\_01.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkakukansenshou01/dl/leaflet20110208_01.pdf)

【感染性胃腸炎】

石巻管内で警報継続中。  
患者数は減少傾向にあるが、依然としてノロウイルスが原因の集団発生があるので、今しばらく注意が必要である。

【流行性耳下腺炎】

石巻管内で警報継続中。

【伝染性紅斑】

気仙沼管内で警報値を超えた。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より

大崎管内	第4週採取分	インフルエンザウイルスA(H3) 遺伝子	5件
登米管内	第4週採取分	インフルエンザウイルスA(H3) 遺伝子	10件
感染性胃腸炎患者より			
塩釜管内	第3週採取分	ノロウイルス(GⅡ)	1件
大崎管内	第3週採取分	ノロウイルス(GⅡ)	1件
栗原管内	第4週採取分	ノロウイルス(GⅡ)	1件
登米管内	第4週採取分	ノロウイルス(GⅡ)	1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第2週採取分	第3週採取分	第4週採取分
	(1.7～1.13)	(1.14～1.20)	(1.21～1.27)
インフルエンザウイルスA(H3)	7件	2件	0件
インフルエンザウイルス解析中	6件	3件	8件
RSウイルス	4件	3件	3件
アデノウイルス	1件	0件	1件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2012年 第50週	17.2	25.9	19.0	8.6	5.2	6.9	8.6	3.4	3.4	0.0	1.7	58
第51週	23.3	26.2	10.7	7.8	8.7	7.8	8.7	1.0	2.9	1.9	1.0	105
第52週	25.0	23.5	9.1	9.1	12.9	4.5	3.0	3.0	0.0	0.8		132
2013年 第1週	26.2	19.2	11.0	6.4	10.5	6.4	5.8	9.9	1.2	0.6	2.9	172
第2週	23.3	21.0	8.6	5.4	9.5	9.5	8.9	5.9	4.1	1.9	1.7	828
第3週	21.9	24.0	14.1	6.8	9.5	8.5	6.0	4.4	2.7	1.2	0.9	1,749
第4週	21.3	28.5	16.7	5.6	5.2	7.7	6.9	4.1	2.4	1.1	0.6	2,850

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。  
宮城県:51定点  
仙台市:42定点  
合 計:93定点

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第1週・第2週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別では群馬県(15.01)、茨城県(9.85)、福島県(9.75)、栃木県(9.55)、沖縄県(9.36)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は1,725例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は2週連続で減少した。宮城県(0.53)、石川県(0.48)、熊本県(0.42)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は2週連続で減少した。富山県(1.79)、福井県(1.32)、石川県(1.28)が多い。感染性胃腸炎: 報告数は第50週以降減少が続いている。徳島県(12.30)、香川県(10.97)、宮崎県(10.58)が多い。水痘: 報告数は2週連続で減少した。沖縄県(4.41)、宮崎県(4.00)、鹿児島県(3.98)が多い。手足口病: 報告数は第50週以降減少が続いている。沖縄県(0.62)、熊本県(0.56)が多い。伝染性紅斑: 報告数は減少した。岩手県(0.18)、富山県(0.10)、愛媛県(0.08)が多い。百日咳: 報告数は2週連続で減少した。高知県(0.03)、千葉県(0.02)、長野県(0.02)、福岡県(0.02)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は2週連続で減少した。富山県(0.07)、静岡県(0.06)、京都府(0.04)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は2週連続で減少した。福井県(1.05)、大分県(0.75)、宮城県(0.69)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は3週連続で減少した。富山県(1.60)、宮城県(1.58)、長野県(1.55)が多い。